

# 地域貢献活動

当会は「JAバンクあいち」の一員として、資金供給などの金融機能の提供により、農業の振興や地域社会の発展に貢献するとともに、環境保全や児童福祉などに対する貢献活動を通じて豊かでゆとりある地域社会の実現に向けた取組みを行っています。

## 環境保全活動

### 森林保全活動の実施

農業に不可欠な綺麗な水を育む森林を守るため、令和元年5月18日（土）に、愛知県瀬戸市白岩町の瀬戸県有林（ヒノキ人工林2.3ha）において、「特定非営利活動法人穂の国森づくりの会」の協力のもと、除伐、枝打ち、林内の清掃、役職員への森林整備活動に関する講習等の森林保全活動を役職員45名で実施しました。

この活動は、平成14年度から取り組んでおり、これまでに39回実施し、延べ1,002名の役職員が参加しています。

なお、平成26年度からは、愛知県との間で締結した「企業の森づくり」事業参加に関する協定に基づく活動として2期6年間取り組んでおり、令和2年3月には、この活動について更に3年間延長する協定を締結しました。引き続き農業に不可欠な綺麗な水を育む森林保全活動に取り組んでいきます。



森林保全活動(除伐)の様子



参加者全員による活動後の記念撮影

## 社会福祉活動

### 児童養護施設へ愛知県産の新米および果物の寄贈

日本の将来を担う児童の健やかな成長の支援と児童に食の大切さを理解してもらうとともに、県内農業の発展に寄与することを目的に、中部善意銀行を通じて県下の全児童養護施設に対し、令和元年11月15日（金）に愛知県産の新米10トン（全児童の約1か月分の消費量相当）、令和元年8月21日（水）に豊田産の梨3,080個、令和2年2月19日（水）に西尾産のイチゴ1,596パックを寄贈しました。

新米の寄贈は、平成23年度から取り組んでおり、これまでに76トンを寄贈しています。また、果物の寄贈は、平成28年度から実施しており、巨

峰、イチゴ、メロン、ポンカン、スイカ、柿および梨を寄贈しています。



石川前経営管理委員会会長（左から3人目）より岡田中部善意銀行理事長（左から4人目）へ目録と新米を贈呈



太田代表理事（左から2人目）より岡田中部善意銀行理事長（左から3人目）へ目録および梨を贈呈



磯村代表理事常務（左から2人目）より小山中部善意銀行副理事長（左から3人目）へ目録およびイチゴを贈呈

### 交通遺児へのおこめギフト券および図書カードの寄贈

交通遺児の健やかな成長および進学の実現を叶え、教育費の負担を少しでも軽減し、学業に専念していただけるよう、令和元年12月11日（水）に、中部善意銀行を通じて県下の交通遺児（3名）へおこめギフト券と図書カード総額28,200円分（交通遺児一人当

たりおこめギフト券4,400円分（お米10キログラム相当）と図書カード5,000円分）を寄贈しました。

この活動は、平成26年度から取り組んでおり、これまでに延べ213名へ2,002,200円を寄贈しています。

## 老人福祉施設などへ車椅子等の寄贈

協同組合組織の地域金融機関として、高齢者が誰にも気がねなく、安心して暮らせる豊かな地域を築き上げていくことに役立てていただくため、県下の老人福祉施設に車椅子等の福祉機器を寄贈しました。

- ① 愛知県社会福祉協議会が選定した老人福祉施設4施設に、ティルト式リクライニング車椅子16台を寄贈しました。



石川前経営管理委員会会長(右から2人目)より菟橋県社会福祉協議会専務理事(中央)へ目録を贈呈

この活動は、平成14年度から取り組んでおり、これまでに296台を寄贈しています。

- ② 高齢者福祉事業に携わるJAに、希望する福祉機器(歩行車等)等61万円相当を寄贈しました。

この活動は、平成14年度から取り組んでおり、これまでに2,057万円相当を寄贈しています。



寄贈したティルト式リクライニング車椅子

## 農業高等学校への農機具の寄贈

愛知県下の農業者の高齢化・減少に伴い農業の担い手が不足するなか、担い手の育成を支援するとともに、県内農業の発展に寄与することを目的として、令和元年12月13日(金)に、稲沢高等学校へ草刈機等農機具、渥美農業高等学校へドローンを寄贈しました。

この活動は、愛知県下の農業系高等学校10校を対象に、平成30年度から実施しています。



石川前経営管理委員会会長(前列左から3人目)より稲沢高校宇佐美校長(前列右から3人目)および渥美農業高校鈴木校長(前列右から2人目)へ目録を贈呈

## 団体献血の実施

地域社会の一員として地域医療に貢献するため、令和元年8月5日（月）にJAあいちビル、令和元年8月8日（木）に事務センターにおいて、愛知県赤十字血液センターの協力のもと、団体献血を実施し、124名の役職員が参加しました。

この活動は、平成18年度から取り組んでおり、これまでに16回、延べ1,455名の役職員が参加しています。



団体献血当日の様子

## 使用済切手の寄贈

使用済切手を、県下の社会福祉の向上に役立てていただくため、「使用済切手保管箱」を全部署へ設置し、令和2年3月23日（月）、収集した使用済切手を中部善意銀行へ寄贈しました。

この活動は、平成18年度から取り組んでおり、これまでに19キログラムを寄贈しています。



「使用済切手保管箱」と収集した使用済切手

# 地域からの資金調達・地域への資金供給等の状況

## 地域からの資金調達の状況

県下 J A や関係諸団体をはじめ、地域の皆様から各種貯金をお預かりしており、当会の令和2年3月末の貯金残高は7兆9,629億円となりました。

## 地域への資金供給の状況

県下 J A や関係諸団体へのご融資をはじめ、地域の暮らしや農業者・事業主の皆様に対する円滑な資金供給に努め、令和2年3月末の貸出金残高は、5,382億円となりました。

- 県内農業を営む皆様を金融面から支援させていただくため、県下 J A での対応が難しい農業法人

等の農業の担い手向けの各種金融商品を取り扱っています。

- 台風等の自然災害や家畜伝染病により農業経営に甚大な被害を受けた農業者に対する金融面での復旧支援として「J Aバンクあいち農業被害支援助利子補給事業」を実施しています。

## 新型コロナウイルス関連肺炎への対応

当会は、新型コロナウイルス関連肺炎の感染拡大を踏まえ、交代制による在宅勤務、時差勤務等の実施により、金融機関としての社会的な機能の維持に努めるとともに、次のとおり被害を受けた方への金融面の支援を実施しています。

- ・ 新型コロナウイルス関連肺炎により被害を受けた農業者に対し、「アグリマイティー資金（新型コ

ロナウイルス感染症対策緊急資金）」を取り扱っています。

- ・ 新型コロナウイルス関連肺炎により被害を受けた中小・小規模事業者に対し、低利・長期の事業資金を供給することを可能とする愛知県制度融資の一つである「愛知県新型コロナウイルス感染症対応資金」を取り扱っています。

## 地方公共団体への資金協力等

愛知県債の引受金融機関として資金協力を行うとともに、愛知県、名古屋市の就農代理金融機関として税金等の公金事務を行っています。